

【問題1】人体の構成について、正しいのはどれか。

- 1 染色体は48本である。
- 2 ミトコンドリアは、細胞に必要なエネルギーを産生している。
- 3 尿管の粘膜は、単層立方上皮からなる。
- 4 中枢神経の灰白質かいはくしつには、神経線維せんいが集まっている。

【問題2】循環器系について、誤っているのはどれか。

- 1 成人の安静時における心拍出量は、約4～5ℓ/分である。
- 2 毛細血管は、細動脈と細静脈とを結ぶ網あみの目状に枝分かれした血管である。
- 3 毛細血管を通して、栄養素・酸素・二酸化炭素などの物質が血液と組織の間で交換される。
- 4 左房室弁そうぼうべん（僧帽弁）は、3枚の弁膜からなっている。

【問題3】呼吸器系について、正しいのはどれか。

- 1 左肺は3葉からなる。
- 2 呼吸中枢ちゅううすうは肺にある。
- 3 チェーン・ストークス呼吸では、呼吸数と呼吸量が周期的に変動する。
- 4 肺胞上皮細胞から界面活性物質（肺サーファクタント）が分泌ぶんびつされると、肺胞はいほうに空気が入りやすくなる。

【問題4】泌尿器系について、誤っているのはどれか。

- 1 一側の腎臓には、約100万個の腎単位（ネフロン）が存在する。
- 2 成人の糸球体濾過量（GFR）しきゅうたいろかは、1日約10ℓである。
- 3 成人の尿量は1日約1～1.5ℓである。
- 4 原尿に含まれる糖は尿細管で再吸収される。

【問題5】ホルモンと内分泌腺ないぶんびつせんの組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 サイロキシン（チロキシン） \_\_\_\_\_ 松果体しょうかたい
- 2 上皮小体ホルモン（パラソルモン） \_\_\_\_\_ 副甲状腺こうじょうせん
- 3 インスリン \_\_\_\_\_ 副腎皮質ひしつ
- 4 成長ホルモン \_\_\_\_\_ 視床下部

【問題6】血液に関することについて、正しいのはどれか。

- 1 赤血球の寿命は約 60 日である。
- 2 血小板の寿命は約 100 日である。
- 3 ヘマトクリット値の基準範囲は、男性で 40～50% である。
- 4 エリスロポエチンは、白血球の産生に必要である。

【問題7】骨格系について、誤っているのはどれか。

- 1 軸椎は第2頸椎のことである。
- 2 上腕骨の外科頸は骨折しやすい部分である。
- 3 肩関節の屈曲とは、上肢を後方に挙上することである。
- 4 第8～12肋骨は仮肋という。

【問題8】神経系について、正しいのはどれか。

- 1 跳躍伝導は無髄神経でみられる。
- 2 脳脊髄液は、脳室の脈絡叢から1日 900 ml分泌される。
- 3 脊髄の運動神経は、前根から出て、感覚神経(知覚神経)は後根から入る。
- 4 レム(REM)睡眠のときは、眼球運動が低下する。

【問題9】筋系について、正しいのはどれか。

- 1 速く収縮する速筋線維(白筋)は、ミオグロビンを多く含んでいる。
- 2 筋線維は、細いミオシンフィラメントと太いアクチンフィラメントできている。
- 3 口輪筋は咀嚼筋のひとつである。
- 4 死後硬直は、筋細胞内のATPがなくなったときにおこる。

【問題10】日本人の食事摂取基準について、誤っているのはどれか。

- 1 厚生労働省が策定し、5年ごとに改定が行われる。
- 2 科学的根拠に基づいた策定を行うことを基本としている。
- 3 対象は、健康な人で構成されている集団のみとする。
- 4 各年齢区分により基準が示されている。

【問題 11】 ビタミンの欠乏と疾病との組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 ビタミンA —— 口内炎
- 2 ビタミンB<sub>1</sub> —— 脚気
- 3 ビタミンB<sub>2</sub> —— 悪性貧血
- 4 ビタミンC —— 夜盲症

【問題 12】 脂質について、正しいのはどれか。

- 1 脂溶性ビタミンの吸収を助長する。
- 2 必須脂肪酸は体内で合成することができる。
- 3 脂質のエネルギー値は、1 gにつき4 kcalである。
- 4 エネルギー源となる過程で、ビタミンB<sub>1</sub>が必要である。

【問題 13】 静脈内注射について、誤っているのはどれか。

- 1 点滴静脈内注射は大量の薬液を投与できる。
- 2 速効性および効果の強さにすぐれている。
- 3 発現する副作用が急激となる。
- 4 油性や懸濁性の薬液の投与に適する。

【問題 14】 薬物の排泄経路について、誤っているのはどれか。

- 1 腎
- 2 肺
- 3 皮膚
- 4 骨

【問題 15】 ホルモン治療と疾病との組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 黄体ホルモン（プロゲステロン） —— 切迫流産
- 2 膵臓ホルモン（インスリン） —— 糖尿病
- 3 下垂体前葉ホルモン（ゴナドトロピン） —— 尿崩症
- 4 卵胞ホルモン（エストロゲン） —— 更年期障害

【問題 16】 退行性病変と進行性病変について、誤っているのはどれか。

- 1 壊死<sup>えし</sup>とは、局所的に組織や細胞が死ぬことをいう。
- 2 生理的萎縮<sup>いしゆく</sup>とは、臓器や組織を長時間使わないことでおこす萎縮をいう。
- 3 肥大<sup>ひだい</sup>とは、組織や臓器が大きくなることをいう。
- 4 化生<sup>かせい</sup>とは、細胞や組織がもとのそれらとは別のものに置き換<sup>お</sup>わ<sup>か</sup>ることをいう。

【問題 17】 血管の閉塞による異常について、正しいのはどれか。

- 1 塞栓症<sup>そくせん</sup>とは、血管内腔で血液が凝固<sup>ぎょうこ</sup>することをいう。
- 2 塞栓症<sup>そくせん</sup>の原因で最も多いのは脂肪である。
- 3 梗塞<sup>こうそく</sup>とは、血流が途絶えたために組織が壊死<sup>えし</sup>に陥る現象をいう。
- 4 石灰化<sup>せいかい</sup>とは、血栓で完全に閉塞された血管が、やがて線維成分<sup>せんい</sup>に置き換<sup>お</sup>え<sup>か</sup>られることをいう。

【問題 18】 がんの種類と頻度の高い組織構造上の分類（上皮の違い）の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 胃がん ————— 移行上皮がん
- 2 皮膚がん ————— 扁平<sup>へんぺい</sup>上皮がん
- 3 膀胱<sup>ぼうこう</sup>がん ————— 移行上皮がん
- 4 子宮頸<sup>けい</sup>がん ————— 扁平<sup>へんぺい</sup>上皮がん

【問題 19】 呼吸器疾患について、正しいのはどれか。

- 1 間質性肺炎は、放射線治療が原因で発症しない。
- 2 粟粒<sup>ぞくりゅう</sup>結核は、血中に入った結核菌が肺を含めたさまざまな臓器に広がる。
- 3 気管支喘息<sup>ぜんそく</sup>は吸気に障害がある。
- 4 肺がんでは、小細胞がんの発生頻度が最も高い。

【問題 20】 ファロー四徴症について、誤っているのはどれか。

- 1 心室中隔欠損
- 2 大動脈騎乗<sup>きじょう</sup>（大動脈右方偏位）
- 3 肺動脈狭窄<sup>きょうさく</sup>
- 4 左心肥大<sup>ひだい</sup>（左心室肥大<sup>ひだい</sup>）

【問題 21】<sup>にくしゅ</sup>骨肉腫について、誤っているのはどれか。

- 1 発症は 40 歳代に多い。
- 2 血行性転移をおこし、なかでも肺転移がよくみられる。
- 3 約半数に血清アルカリホスファターゼ値の上昇がみられる。
- 4 骨の代表的な悪性腫瘍<sup>しゅよう</sup>である。

【問題 22】<sup>めんえき</sup>免疫について、誤っているのはどれか。

- 1 ヒトが生まれながらにしてもつ免疫<sup>めんえき</sup>を、先天免疫<sup>めんえき</sup>という。
- 2 病原微生物に感染したあとに得られる免疫<sup>めんえき</sup>を、受動免疫<sup>じゅどうめんえき</sup>という。
- 3 抗原に対する抗体(抗血清)を中心とした反応を、体液性免疫<sup>めんえき</sup>という。
- 4 抗原に対するリンパ球による反応を、細胞性免疫<sup>めんえき</sup>という。

【問題 23】病原体と感染経路の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 マラリア原虫 —— 経口感染
- 2 ジフテリア菌 —— <sup>ひまつ</sup>飛沫感染
- 3 サルモネラ菌 —— 空気感染
- 4 麻疹ウイルス —— <sup>ばいかい</sup>昆虫媒介感染

【問題 24】ウイルスの特徴について、誤っているのはどれか。

- 1 生きた細胞の中でのみ増殖する。
- 2 感染が起こると、あらゆる臓器で増殖する。
- 3 核酸とたんぱく質からできている。
- 4 感染を予防するためには、ワクチンを接種するのが最善の方法である。

【問題 25】「看護者の倫理綱領」に記載されている内容について、誤っているのはどれか。

- 1 対象者との信頼関係に基づく看護の提供
- 2 人々の知る権利及び自己決定権の尊重
- 3 看護者自身の心身の健康保持増進
- 4 適切な医療を受ける権利

【問題 26】 インフォームドコンセントについて、誤っているのはどれか。

- 1 パターナリズムを推奨する。
- 2 ヘルシンキ宣言が採択された。
- 3 患者の自己決定権を尊重する。
- 4 患者の知る権利を尊重する。

【問題 27】 急性期にある患者の心理的特徴について、適切なのはどれか。

- 1 病気と共に生きることを認識する。
- 2 あきらめから受容に発展する段階である。
- 3 病名の診断により、恐怖は取り除かれる。
- 4 身体面の急激な変化が、心理的な問題に発展することが多い。

【問題 28】 セリエが提唱したストレス概念について、適切でないのはどれか。

- 1 体外から加えられた各種の刺激に応じて体内に生じた傷害と防衛の反応の総和である。
- 2 有害刺激にさらされた生体に生じたゆがみである。
- 3 不安や恐怖に駆られた場合に生じる、冷静や秩序を失った情動や行動である。
- 4 警告反応期は、ショック相と反ショック相に区別される。

【問題 29】 フィンクが提唱している危機モデル4段階について、誤っているのはどれか。

- 1 しょうげき  
衝撃
- 2 現実認知
- 3 承認
- 4 適応

【問題 30】 日本における 2011 年（平成 23 年）人口統計の記述について、正しいのはどれか。

- 1 人口ピラミッドの形状はつぼ型である。
- 2 生産年齢人口は人口全体の 70%である。
- 3 老年人口は 20%を超えている。
- 4 合計特殊出生率は 1.26 である。

【問題 31】 医療保険について、誤っているのはどれか。

- 1 保険料は事業主（雇い主）も負担する。
- 2 被保険者の自己負担は、原則として3割である。
- 3 療養の給付は現金給付である。
- 4 高額療養費の制度がある。

【問題 32】 介護保険法について、正しいのはどれか。

- 1 第1号被保険者は45歳以上の者である。
- 2 要介護認定および要支援認定を受けるには、市町村に申請しんせいが必要である。
- 3 介護給付は、被保険者の要支援状態に関する給付である。
- 4 予防給付には、在宅サービスと施設サービスがある。

【問題 33】 生活保護法について、正しいのはどれか。

- 1 第一の目的は、生活困窮者に最低限度の生活を保障することである。
- 2 扶助ふじょの種類は6種類である。
- 3 扶助ふじょを重複して受けることはできない。
- 4 生活保護に関する事務を取り扱うのは、社会保険事務所である。

【問題 34】 オランダの看護理論について、正しいのはどれか。

- 1 看護の探求
- 2 看護の基本となるもの
- 3 看護覚え書
- 4 患者中心の看護

【問題 35】 マズローによる欲求の階層の第2階層について、正しいのはどれか。

- 1 自己実現の欲求
- 2 安全の欲求
- 3 愛情と所属の欲求
- 4 生理的欲求

【問題 36】医療安全について、誤っているのはどれか。

- 1 医療事故には、来院者・職員に傷害が発生した場合を含む。
- 2 アクシデントとは、誤った医療行為が実施される前に発見されたものをいう。
- 3 医療過誤とは、医療事故発生の原因に、医療機関・医療従事者の過失があるものをいう。
- 4 インシデントとヒヤリ・ハットは同義語である。

【問題 37】健康の概念について、正しいのはどれか。

- 1 WHO憲章では、「健康とは、ただ疾病や虚弱しっぺいがないことである」としている。
- 2 日本国憲法では、健康は国民の義務として位置づけられている。
- 3 オタワ宣言では、プライマリヘルスケアの考え方が提唱された。
- 4 ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康をコントロールし、改善することを増大させようとするプロセスである。

【問題 38】車椅子での移送いすについて、適切なのはどれか。

- 1 エレベーターでは前向きに乗車する。
- 2 段差を上がる時は、ティッピングレバーを踏み前輪を浮かすようにする。
- 3 下り坂では車椅子いすを前向きにして下りる。
- 4 観察のため膝掛けひざを使用しない。

【問題 39】脈拍について、適切なのはどれか。

- 1 通常、橈骨動脈とうこつを用いて測定する。
- 2 成人の正常脈拍数は90～100回/分である。
- 3 発熱時は脈拍数が減少する。
- 4 動脈上に、母指、示指、中指を当てて測定する。

【問題 40】看護記録について、適切なのはどれか。

- a 読みやすく正確な文字で記載する。
- b 責任を明確にするため、記録者は署名（サイン）をする。
- c 間違えて記載したときは修正ペンで消して書き直す。
- d 正確に記載するため、勤務終了後にまとめて記載する。

- 1 aとb    2 cとd    3 aとc    4 bとd

【問題 41】室内環境について、適切なのはどれか。

- 1 夏季の至適温度は  $28 \pm 2^{\circ}\text{C}$  である。
- 2 不快指数 70 以上で不快を感じる人が出始める。
- 3 就寝時の病室の明るさは、100～200 ルクスである。
- 4 騒音の感じ方は誰もが同じである。

【問題 42】和式寝衣しんいの交換について、適切なのはどれか。

- 1 身体に汚れがある場合は、着替えてから清拭せいしきする。
- 2 片側に障害があるときは、患側から脱がせ健側から着せる。
- 3 左ひだりの前身みごろが外側になるように合わせる。
- 4 ひもは縦結びになるようにする。

【問題 43】睡眠について、正しいのはどれか。

- 1 ノンレム睡眠には 1～4 段階ある。
- 2 睡眠の深さは、眠ってから起きるまで一様である。
- 3 入眠とともに体温は上昇する。
- 4 健康な成人の睡眠時間は、一般的に 4～5 時間である。

【問題 44】口腔こうくうケアについて、適切でないのはどれか。

- 1 口腔内の細菌の繁殖を防ぐ。
- 2 唾液だえきによる浄化（自浄）作用を低下させる。
- 3 食物残渣ざんさ・歯垢しこうを取り除く。
- 4 気分を爽快にし、食欲増進につながる。

【問題 45】義歯の取り扱いについて、適切なのはどれか。

- 1 食後は、義歯を装着したまま含嗽がんそうする。
- 2 義歯を装着するときは、上顎じょうがくから入れる。
- 3 就寝中も装着しておくことが望ましい。
- 4 義歯を外しておくときは乾燥させておく。

【問題 46】 看護者に禁止されている業務について、正しいのはどれか。

- 1 薬剤の処方
- 2 採血
- 3 導尿
- 4 静脈注射

【問題 47】 排泄の援助について、適切でないのはどれか。

- 1 便器を使用するときは、便器用パッドを当てるか便器をあたためてから使用する。
- 2 自然排泄を促すため、腹圧のかかりやすい体位にする。
- 3 患者が尿器を自分で使う場合は、排泄が終わるまで側で見守る。
- 4 女性の場合、便器挿入後は外陰部にちり紙を当て、尿の飛散を防ぐ。

【問題 48】 洗髪の手援助について、適切なのはどれか。

- 1 36℃前後の湯を準備する。
- 2 仰臥位で行う場合、ぎょうがい膝を伸ばして行く。
- 3 頭皮を傷つけないよう、指腹で洗浄する。
- 4 ドライヤーの温風は直接頭皮にあてる。

【問題 49】 陰部洗浄について、適切なのはどれか。

- a 42℃前後の湯で洗浄する。
  - b 看護者はディスポーザブル手袋を装着して行く。
  - c 女性の場合、こうもん肛門のほうから外尿道口のほうに向けて洗う。
  - d 外陰部の皮膚・ねんまく粘膜は強くこすらないようにする。
- 1 aとb    2 cとd    3 aとc    4 bとd

【問題 50】 おんあんぼう温罨法について、適切なのはどれか。

- 1 無感温度は環境に左右されない。
- 2 血管を収縮させ、さまた血行を妨げる。
- 3 湯たんぽは乾性のおんあんぼう温罨法である。
- 4 湯たんぽは、身体に直接接触するように使用する。

【問題 51】滅菌物の取り扱いについて、適切なのはどれか。

- a 滅菌手袋の中包みを開くとき、中包みの内側に触れずに開く。
- b 滅菌物を取り扱う台の上が乾燥していることを確認する。
- c 鉗子かんし立てから鉗子・鑷子かんし せっしを出し入れするときは、先端を開いた状態にする。
- d 滅菌物は腰より低い位置で取り扱う。

1 a と b    2 c と d    3 a と c    4 b と d

【問題 52】腹囲測定について、適切でないのはどれか。

- 1 腹囲とは、臍へその位置の腹周囲径のことをいう。
- 2 測定する時刻や条件を一定にしておく。
- 3 仰臥位で行う場合、膝ひざを伸ばした状態で測定する。
- 4 目盛りは吸気の終わりに読む。

【問題 53】検体採取とその取り扱いについて、適切なのはどれか。

- 1 便検査では、一般に母指頭大の便をへらでとり容器へ入れる。
- 2 喀痰かくたんは就寝前に採取する。
- 3 尿の細菌検査の際は、未滅菌容器に検体を採取する。
- 4 検体採取後は、一定時間をおいて検査室に提出する。

【問題 54】与薬法について、適切なのはどれか。

- 1 塗擦法とさつを行う皮膚は清潔にしておく。
- 2 点眼法では、1回につき薬液を5滴ほど滴下する。
- 3 食間薬は食事中に服用する。
- 4 点耳法てんじは仰臥位ぎょうがいで実施する。

【問題 55】注射法について、適切なのはどれか。

- 1 注射器は、ガラス製を用いるのが一般的である。
- 2 皮下注射には、刃面が長いRB (regular bevel) が適している。
- 3 筋肉注射の刺入角度は、約10度から30度とする。
- 4 注射するときは、毎回同じ場所に穿刺する。

【問題 56】 中心静脈栄養法について、適切なのはどれか。

- 1 消化管での消化・吸収が問題ない患者に適用される。
- 2 選択される血管は大伏在静脈ふくざいが一般的である。
- 3 中心静脈カテーテルの挿入は看護師が行う。
- 4 中心静脈カテーテルの挿入は無菌操作で行う。

【問題 57】 包帯法について、適切なのはどれか。

- a 四肢では中ちゆうすう枢から末まつしよう梢に向けて巻く。
  - b 関節部は基本肢位を保つようにする。
  - c 平均した圧迫で巻く。
  - d 前腕ぜんわんや下腿かたいでは折転帯せつてんたいを用いる。
- 1 a と b      2 c と d      3 a と c      4 b と d

【問題 58】 急性期の患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 看護師の判断で必要な検査や処置を行う。
- 2 残存機能の拡大に向けて援助する。
- 3 行動変容を促すかかわりをする。
- 4 苦痛かんわの緩和への援助を行う。

【問題 59】 国際生活機能分類（ICF）の構成要素について、誤っているのはどれか。

- 1 心身機能・身体構造
- 2 活動・参加
- 3 環境因子
- 4 社会的不利

【問題 60】 水欠乏性脱水の症状について、誤っているのはどれか。

- 1 口渇こうかつ
- 2 血圧上昇
- 3 尿量減少
- 4 皮膚の乾燥

【問題 61】 安静による効果について、適切なのはどれか。

- 1 酸素消費量を増大させる。
- 2 エネルギー消費を増大させる。
- 3 心臓への負担を軽減する。
- 4 筋力を回復させる。

【問題 62】 疾患と<sup>しっかん</sup>その食事療法の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 胆石症 ————— 低たんぱく食
- 2 肺炎 ————— 低脂肪食
- 3 痛風 ————— 低プリン食
- 4 ネフローゼ症候群 — 低ナトリウム食

【問題 63】 意識障害のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 意識レベルの観察として、最初に疼痛刺激を与える。
- 2 気道の確保を図る。
- 3 定期的な体位変換を行う。
- 4 麻痺<sup>まひ</sup>やけいれんなどの神経症状を観察する。

【問題 64】 痛みのある患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 痛みの評価は病態から判断する。
- 2 鎮痛薬投与中は、痛みの観察は必要ない。
- 3 急性炎症による痛みの緩和には、温罨法<sup>おんあんぼう</sup>を用いる。
- 4 患者の体験している痛みを受け入れる。

【問題 65】 発熱のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 電解質の補給を制限する。
- 2 エネルギー補給を工夫する。
- 3 悪寒<sup>おかん</sup>を訴えるときは、湯たんぽなどで保温する。
- 4 発汗時は寝衣<sup>しんい</sup>の交換を行う。

【問題 66】<sup>おうと</sup>嘔吐のある患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 <sup>おうと</sup>嘔吐時は顔を上に向ける。
- 2 代謝性アシドーシスに注意する。
- 3 脱水症状の有無を観察する。
- 4 <sup>おうと</sup>嘔吐の直後は手足を冷やす。

【問題 67】術後の早期離床の効果について、適切でないのはどれか。

- 1 呼吸器合併症の予防
- 2 創出血の予防
- 3 <sup>ぜんどう</sup>腸蠕動の促進
- 4 <sup>けっせん</sup>静脈血栓症の予防

【問題 68】薬物療法について、正しいのはどれか。

- 1 併用により、薬物の作用が強まることを拮抗作用<sup>きっこう</sup>という。
- 2 服薬におけるノンコンプライアンスとは、患者が指示どおり服薬していることをいう。
- 3 <sup>なっとう</sup>納豆は、ワルファリン（ワーファリン<sup>®</sup>）の作用を増強させる。
- 4 直腸内与薬は、経口与薬に比べて胃腸障害が少ない。

【問題 69】退院時の看護について、適切なのはどれか。

- 1 退院計画は、退院が決まってから作成する。
- 2 退院計画は、治療に関する事柄のため、医師や看護師だけで作成する。
- 3 安全で安心な生活を送られるよう、計画的に退院指導を行う。
- 4 他施設への情報提供は、個人情報保護のため口頭のみで行う。

【問題 70】放射線療法について、誤っているのはどれか。

- 1 主のがんの治療に用いられる。
- 2 骨は卵巣よりも放射線の感受性が高い。
- 3 放射線防護の3原則は、時間・遮蔽<sup>しゃへい</sup>・距離である。
- 4 放射線宿酔<sup>しゆくすい</sup>は、放射線療法における全身症状のひとつである。

【問題 71】硬膜外麻酔について、誤っているのはどれか。

- 1 術後の疼痛軽減を目的に行う場合がある。
- 2 分離麻酔ができる。
- 3 穿刺針から髄液が流出する。
- 4 凝固機能ぎょうこに異常がある患者では、硬膜外血腫を生じることがある。

【問題 72】厚生労働大臣が付与する免許について、正しいのはどれか。

- 1 介護福祉士
- 2 准看護師
- 3 臨床心理士
- 4 栄養士

【問題 73】人間の成長・発達の特徴について、適切なのはどれか。

- 1 成長・発達は、一定の順序で進むが、個人差がある。
- 2 スキャモンによると、神経系型は思春期に最大の発達を示す。
- 3 発達とは、身体の形態的増大をいう。
- 4 エリクソンは、人間の発達段階を5つの段階に分けている。

【問題 74】排尿について、正しいのはどれか。

- 1 膀胱内圧ぼうこうが 15~20 cm H<sub>2</sub>O に達すると、尿意を感じる。
- 2 外尿道括約筋がいりょうどうかつやくきんは不随意筋である。
- 3 尿比重しつぱんは疾患により変化しない。
- 4 1日の尿量が 100 ml以下のことを尿閉という。

【問題 75】鉄剤内服時に注意すべき副作用について、正しいのはどれか。

- 1 頻尿
- 2 消化器症状
- 3 白血球減少
- 4 動悸どうき

【問題 76】 死の三徴候について、誤っているのはどれか。

- 1 平坦脳波
- 2 呼吸停止
- 3 心臓停止
- 4 瞳孔散大  
どうこう

【問題 77】 壮年期の特徴について、適切なのはどれか。

- 1 早期覚醒による睡眠障害がある。  
かくせい
- 2 味覚感度が良くなる。
- 3 身体的・心理社会的に安定する時期である。
- 4 骨量は徐々に増加する。

【問題 78】 成人期の健康障害を持つ人に対する援助について、適切なのはどれか。

- 1 疾病予防に関する情報を一括して提示する。  
しつべい
- 2 生活行動を自ら変えようとするように援助する。
- 3 到達目標はできるだけ高く設定する。
- 4 生活改善を継続できない人は、援助しても効果がない。

【問題 79】 網膜剥離をおこした患者の訴えについて、正しいのはどれか。  
もうまくはくり

- 1 視野が欠けて見える。
- 2 眼が乾く。
- 3 明るいところがまぶしい。
- 4 物が二重に見える。

【問題 80】 呼吸器症状について、誤っているのはどれか。

- 1 黄色・緑色の膿性痰は感染によると考える。
- 2 激しい運動をしたときだけ息切れがあるのは、Medical Research Council (MRC) 息切れスケールのグレード1である。
- 3 連続性ラ音は気管支喘息で聴かれる。  
ぜんそく
- 4 チアノーゼは、還元（脱酸素）ヘモグロビンが5 g/dl以上になると出現する。

【問題 81】呼吸（肺）理学療法について、適切なのはどれか。

- 1 口すぼめ呼吸は呼気時間を短くする目的で行う。
- 2 口すぼめ呼吸は肺炎患者に有効である。
- 3 腹式呼吸は横隔膜おうかくまくを利用した呼吸法である。
- 4 体位ドレナージの際、下葉の排痰目的には座位が効果的である。

【問題 82】人工呼吸器装着中の患者について、適切でないのはどれか。

- 1 気道の加湿が重要である。
- 2 意識のある患者は、自分の意思を伝えられないことが、大きなストレスになる。
- 3 ファイティングとは、自発呼吸が人工呼吸に同調することをいう。
- 4 気管内チューブのカフ圧を適切に管理する。

【問題 83】虚血性心疾患しつかんについて、誤っているのはどれか。

- 1 狭心症と心筋梗塞こうそくは虚血性心疾患しつかんである。
- 2 異型狭心症は冠動脈の攣縮れんしゆくによりおこる。
- 3 不安定狭心症では、運動負荷心電図検査は禁忌きんきである。
- 4 急性心筋梗塞こうそくでは通常、異常Q波の出現後にS Tの上昇が現れる。

【問題 84】先天性心疾患しつかんについて、誤っているのはどれか。

- 1 心房中隔欠損症
- 2 リウマチ性僧帽弁狭窄症そうぼうべん
- 3 心室中隔欠損症
- 4 動脈管開存症

【問題 85】消化器疾患しつかんで開腹手術を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 手術前は、経口摂取や輸液により栄養状態の改善を図る。
- 2 術後の肺合併症予防のために、術前に深呼吸の指導を行う。
- 3 術前の臍処置さいは不要である。
- 4 手術前には、医師の指示により下剤の投与や浣腸を実施する。

【問題 86】胆石症について、誤っているのはどれか。

- 1 胆石が疑われるときは、腹部超音波検査で結石の有無を検索する。
- 2 胆石には、胆嚢結石・総胆管結石・肝内結石がある。
- 3 三主徴は発熱・黄疸・下痢である。
- 4 外科的療法は、腹腔鏡下での摘出術が広く行われている。

【問題 87】甲状腺クリーゼについて、誤っているのはどれか。

- 1 正常にコントロールされたバセドウ病患者に突然発症する。
- 2 手術や抗甲状腺薬の不用意な中断などを契機に発症することがある。
- 3 放置すると死に至る危険性がある。
- 4 治療は、抗甲状腺薬・ヨード薬投与、全身管理を行う。

【問題 88】原発性アルドステロン症について、誤っているのはどれか。

- 1 二次性高血圧をおこす。
- 2 低カリウム血症をきたす。
- 3 高レニン血症をきたす。
- 4 副腎皮質のがんが原因となることはまれである。

【問題 89】慢性硬膜下血腫について、正しいのはどれか。

- 1 頭部に外傷を負ってから6か月以降に発生することが多い。
- 2 高齢者では少ない。
- 3 アルコール多飲者ほど発症しやすい。
- 4 シヤント手術が行われる。

【問題 90】けいれん発作のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 発作時には吐物の誤嚥に注意する。
- 2 発作時には周囲の危険物を除去する。
- 3 けいれん重積状態では、ただちに気管切開の準備をする。
- 4 薬物療法の必要性和副作用について、十分に説明する。

【問題 91】<sup>ずいまく</sup>髄膜炎患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 意識レベルを観察する。
- 2 <sup>ずいまく</sup>髄膜刺激症状の有無に注意する。
- 3 部屋の照明を明るくする。
- 4 ベッドの頭側は少し拳上する。

【問題 92】<sup>しゅよう</sup>脳腫瘍について、正しいのはどれか。

- 1 <sup>こうしゅ</sup>神経膠腫（グリオーマ）は良性である。
- 2 転移性<sup>しゅよう</sup>脳腫瘍の原発巣は肺がんが最も多い。
- 3 プロラクチン産生<sup>しゅよう</sup>腫瘍（腺腫）では、クッシング症候群がみられる。
- 4 <sup>ずいまく</sup>髄膜腫は悪性である。

【問題 93】ネフローゼ症候群について、正しいのはどれか。

- 1 <sup>けっしょうこうしつしんとうあつ こうしん</sup>血漿膠質浸透圧が亢進する。
- 2 たんぱく尿と低たんぱく血症（低アルブミン血症）は、診断の必須条件である。
- 3 原因によって、腎前性・腎性・腎後性に分けられる。
- 4 治療として血液吸着法が行われる。

【問題 94】<sup>じんろう</sup>急性腎盂腎炎患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 十分な水分摂取を促す。
- 2 <sup>おしん おうと けんたいかん</sup>発熱、悪心・嘔吐、全身倦怠感などの症状を観察する。
- 3 安静と保温に努める。
- 4 排尿痛の対症療法として、排尿をがまんさせる。

【問題 95】経尿道的前立腺切除術後の看護について、適切なのはどれか。

- 1 飲酒をしても良いと説明する。
- 2 水分摂取は必要最小限にするよう説明する。
- 3 排尿障害（<sup>しつきん</sup>尿失禁）に対し、骨盤底筋体操を勧める。
- 4 座位で長時間過ごすことは問題ないと説明する。

【問題 96】血液疾患<sup>しっかん</sup>について、正しいのはどれか。

- 1 成人T細胞白血病は、ウイルス感染によって発症する。
- 2 再生不良性貧血は、鉄欠乏によって発症する。
- 3 特発性血小板減少性紫斑病<sup>しはん</sup>は、凝固因子<sup>ぎょうこ</sup>欠乏によって発症する。
- 4 血友病は、アレルギー性機序によって発症する。

【問題 97】貧血のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 心肺機能を高めるために、積極的に運動を行うよう説明する。
- 2 めまいや立ちくらみによる転倒に注意する。
- 3 食事の指導が重要である。
- 4 室温や衣類を調節し、四肢の保温に努める。

【問題 98】耳鼻咽喉科疾患<sup>しっかん</sup>について、正しいのはどれか。

- 1 ベル麻痺<sup>まひ</sup>は顔面神経麻痺<sup>まひ</sup>である。
- 2 メニエール病は外耳<sup>しっかん</sup>の疾患である。
- 3 急性副鼻腔炎<sup>させい</sup>は嗄声<sup>させい</sup>が主症状である。
- 4 喉頭がん<sup>こうとう</sup>は女性に多い。

【問題 99】運動器疾患<sup>しっかん</sup>の診察・検査について、正しいのはどれか。

- 1 運動器疾患<sup>しっかん</sup>の症状には痛みは含まれない。
- 2 麻痺<sup>まひ</sup>などにより低下した筋力の評価は、計器によるものが一般的である。
- 3 関節角度の測定は、基本肢位からの可動範囲で示される。
- 4 MRIは、放射線被曝<sup>ひばく</sup>が問題となる。

【問題 100】腱<sup>じんたい</sup>や靭帯の外傷・障害について、正しいのはどれか。

- 1 アキレス腱断裂は、高齢者の転倒により発生しやすい。
- 2 捻挫<sup>ねんざ</sup>では靭帯<sup>じんたい</sup>損傷はおこらない。
- 3 ばね指（バネ指）は小児期に多くみられる。
- 4 肘内障<sup>ちゅうないしょう</sup>は、幼児の手を引っ張ったときにおこりやすい。

【問題 101】変形性股関節症<sup>こかんせつ</sup>患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 筋力強化訓練は効果がない。
- 2 肥満者には体重のコントロールを指導する。
- 3 手術後に深部静脈血栓症をおこす可能性はない。
- 4 人工股関節置換術<sup>こかんせつちかん</sup>後は、股関節<sup>こかんせつ</sup>を内転・内旋位に保持するよう注意する。

【問題 102】ギプス固定患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 ギプス固定は、患部の安静や骨折の整復位保持などの目的で行われる。
- 2 ギプス包帯は、固定力を強化するため、直接、皮膚の上に巻く。
- 3 ギプス固定による安静臥床中<sup>がしやう</sup>は、床上排泄による汚染に気をつける。
- 4 ギプス除去後、患部の皮膚<sup>せいしき</sup>を清拭する。

【問題 103】女性の生殖器について、正しいのはどれか。

- 1 子宮の後壁と直腸との間の部位をダグラス窩<sup>か</sup>という。
- 2 受精卵<sup>ちやくしやう</sup>が着床し発育するのは子宮頸管<sup>けいゆん</sup>である。
- 3 受精卵<sup>ちやくしやう</sup>の着床を助ける主なホルモンはエストロゲンである。
- 4 排卵から月経開始までは約 28 日である。

【問題 104】婦人科診察の介助について、適切なのはどれか。

- 1 膣タンポンを挿入したので、1週間後の診察までそのまま抜去しないように指導した。
- 2 問診で質問に対し患者が答えにくそうにしていたので、プライバシーに配慮した環境を整えた。
- 3 細胞診<sup>とまつ</sup>で、細胞の塗抹されたスライドガラスをホルマリン液に入れた。
- 4 内診にあたって、診察前の排尿はしないよう指導した。

【問題 105】婦人科がん患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 卵巣を摘出した場合、卵巣欠落症状が出現することが多い。
- 2 病的帯下<sup>たいげ</sup>に対しては、ナプキン（パッド）の交換をこまめに行う。
- 3 抗がん剤の血管外漏出<sup>ろうしゆつ</sup>が疑われる場合は、直ちに注入を中止する。
- 4 放射線治療中の下痢は心配ないと説明する。

【問題 106】 婦人科疾患<sup>しっかん</sup>と検査・治療の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 不妊症 ————— 子宮卵管造影
- 2 更年期障害 ————— 排卵誘発療法
- 3 子宮頸がん ————— コルポスコピー
- 4 バルトリン腺<sup>のうよう</sup>膿瘍 ——— 切開・排膿

【問題 107】 全身性エリテマトーデス（SLE）患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 服薬は、自分の判断で調節できるよう指導する。
- 2 外出時は、帽子や長袖を着用し、直接日光に当たらないよう指導する。
- 3 帰宅後は、手洗いやうがいを行うよう指導する。
- 4 寒冷刺激を避け、保温に努めるよう指導する。

【問題 108】 関節リウマチの特徴について、正しいのはどれか。

- 1 初期から関節の変形がみられる。
- 2 男性に多い。
- 3 感染性<sup>しっかん</sup>の疾患である。
- 4 朝の関節のこわばりを伴う。

【問題 109】 標準予防策（スタンダード・プリコーション）について、適切でないのはどれか。

- 1 感染予防の基本は、標準予防策と感染経路別予防策である。
- 2 処置の前後には必ず手を洗う。
- 3 個人防護用具は必ず着用する。
- 4 針刺し事故防止のため、使用後は耐貫通性専用廃棄容器に速やかに廃棄する。

【問題 110】 肺結核の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 空気感染予防策を行う。
- 2 咳<sup>せき</sup>をするときは、マスクやタオルで口を覆う。
- 3 抗結核薬の副作用のひとつとして、聴力障害がみられる。
- 4 症状がなくなれば服薬を中止する。

【問題 111】皮膚の熱傷について、正しいのはどれか。

- 1 深度によって、I度からIV度に分類されている。
- 2 成人の受傷面積の算定は、一般に5の法則（ブロッカーの法則）が用いられている。
- 3 表皮熱傷は、しばしば水疱すいほうをつくる。
- 4 皮下組織に達する熱傷は、しばしば癒痕はんこんを残す。

【問題 112】う蝕しよく（むし歯）について、誤っているのはどれか。

- 1 歯面しょうかの小窩に好発する。
- 2 進行程度C<sub>2</sub>とは、歯髓腔しずいまで進んだ状態をいう。
- 3 ストレプトコッカス・ミュータンスは原因菌のひとつである。
- 4 エナメル質しよくのう蝕の場合、ほとんど無痛である。

【問題 113】高齢者の権利擁護について、適切でないのはどれか。

- 1 高齢者虐待の予防・早期発見が重要である。
- 2 高齢者虐待を発見した場合は、市町村に通報する。
- 3 成年後見制度の任意後見人は、家庭裁判所が決定する。
- 4 認知症の人が、地域で自立した生活が送れるように「日常生活自立支援事業」制度がある。

【問題 114】高齢者の看護の基本的姿勢について、適切でないのはどれか。

- 1 個別性を重視する。
- 2 高齢者のペースに合わせる。
- 3 生活習慣を積極的に変える。
- 4 高齢者の価値観を尊重する。

【問題 115】加齢による知的機能・人格の変化について、誤っているのはどれか。

- 1 判断能力が衰えやすい。
- 2 最近のことについての記憶力が低下する。
- 3 わがまま、頑固という自己中心的な面が現れる。
- 4 目の前のことに対して、無関心になりやすい。

【問題 116】高齢者の睡眠について、正しいのはどれか。

- 1 深睡眠期が増加し、浅睡眠期が著しく減少する。
- 2 夜間の覚醒回数かくせいが増加する。
- 3 不眠への援助として、1時間以上の昼寝が有効である。
- 4 就寝から入眠までの時間が短く、寝つきはよい。

【問題 117】疾患をもつ高齢者の特徴しつかんについて、誤っているのはどれか。

- 1 高齢になるほど罹患している疾患しつかんの数が増える。
- 2 疾病しつぺいに特有な症状が定型的である。
- 3 薬物に対する反応は成人と異なり、副作用をおこしやすい。
- 4 合併症を併発しやすい。

【問題 118】高齢者の口腔こうくうケアについて、適切なのはどれか。

- 1 経口摂取できない高齢者には不要である。
- 2 清潔保持によって味覚を維持する効果はない。
- 3 肺炎などの感染症の予防に効果がある。
- 4 口腔粘膜こうくうが薄くなり傷つきやすいので、歯肉マッサージを行わない。

【問題 119】高齢者の食事摂取の援助について、適切でないのはどれか。

- 1 環境を整え器や盛り付けを工夫する。
- 2 必要に応じて自助具を用い、自分で食べる意欲を引き出す。
- 3 食事内容は、咀嚼力そしゃくを考慮し硬めにする。
- 4 食事の前にお茶などで口を湿らす。

【問題 120】高齢者の褥瘡じょくそう予防としてのスキンケアについて、適切でないのはどれか。

- 1 状態に合わせて入浴や清拭せいしきを行い、皮膚を清潔に保つ。
- 2 皮膚乾燥がある場合は保湿剤を塗る。
- 3 失禁しつきんがある患者は、汚れるたびに洗淨清拭せいしきする。
- 4 骨突起部の皮膚は強めにマッサージする。

【問題 121】入院中の高齢者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 入院という環境からくるストレスの軽減や異常の早期発見に努める。
- 2 寝たきりの状態を招きやすいことを意識して、早期離床に向けて援助する。
- 3 生活の完全自立ができるよう援助する。
- 4 事故を未然に防ぐために環境を整える。

【問題 122】手術を受ける高齢者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 手術後は免疫力<sup>めんえき</sup>を高めるため、臥床期間<sup>がしょう</sup>を延ばす。
- 2 呼吸訓練は不安感が高まるため、術後から行う。
- 3 手術後せん妄に対して、苦痛の軽減と安全を確保する。
- 4 訴えがない場合、疼痛管理は必要でない。

【問題 123】高齢者の薬物療法時の看護について、適切なのはどれか。

- 1 飲み忘れた場合は次にまとめて飲むよう指導する。
- 2 高齢者に服薬指導すると共に、家族や介護者にも説明する。
- 3 以前に処方された古い薬も、現在服用している薬と一緒に保管する。
- 4 数種の錠剤や、カプセル剤を一度に服用するよう指導する。

【問題 124】認知症の中核症状について、正しいのはどれか。

- 1 見当識障害
- 2 徘徊<sup>はいかい</sup>
- 3 睡眠・覚醒<sup>かくせい</sup>障害
- 4 幻覚・妄想<sup>もうそう</sup>

【問題 125】認知症高齢者の特徴と看護について、適切なのはどれか。

- 1 物忘れの進行は、高齢者に不安と孤独を感じさせる。
- 2 看護師の働きかけで、情動の安定を図ることはできない。
- 3 家族へのサポートは必要でない。
- 4 認知症は急激に進行することが多い。

【問題 126】高齢者の在宅療養について、適切でないのはどれか。

- 1 その人の「日常性」を維持する工夫をする。
- 2 家族との交流が持てるよう環境づくりに配慮する。
- 3 在宅療養を継続していくために、多くの関係機関や他職種との連携は必要である。
- 4 訪問看護サービスは、終末期のみ受けるよう調整する。

【問題 127】妊娠中の生理的変化について、誤っているのはどれか。

- 1 妊娠により、母体内を循環する血液量は増加する。
- 2 妊娠末期には、子宮腔<sup>くう</sup>の容積が2～3 l となる。
- 3 妊婦の体重は、妊娠末期には非妊娠時に比べて10 kg 前後増加する。
- 4 胎盤<sup>たいばん</sup>は、妊娠末期には胎児体重のほぼ1／6となる。

【問題 128】妊娠中の保健指導の内容について、適切でないのはどれか。

- 1 昼寝を1時間程度とるのがよい。
- 2 やむをえず長時間の旅行が必要なときは、妊娠中期（安定期）が望ましい。
- 3 妊娠中の衣服は、保温性にすぐれているものがよい。
- 4 分娩<sup>ぶんべん</sup>に必要な物品は、妊娠37週頃までに準備するのがよい。

【問題 129】分娩<sup>ぶんべん</sup>について、誤っているのはどれか。

- 1 分娩<sup>ぶんべん</sup>の3要素とは、胎児とその付属物<sup>べんしゅつ</sup>、娩出力、産道の三つである。
- 2 早産とは、妊娠22週から37週未満<sup>ぶんべん</sup>の分娩<sup>ぶんべん</sup>のことをいう。
- 3 分娩<sup>ぶんべん</sup>第2期とは、破水から胎児の娩出<sup>べんしゅつ</sup>までである。
- 4 骨盤位<sup>こつばんい</sup>とは、児の殿部が頭部より先進している場合をいう。

【問題 130】産婦の看護について、適切なのはどれか。

- 1 分娩<sup>ぶんべん</sup>が開始したら、睡眠をとらないように説明する。
- 2 分娩<sup>ぶんべん</sup>第1期では、5～6時間毎に排尿を試みさせる。
- 3 分娩<sup>ぶんべん</sup>第2期は、冷たい水や番茶で口渇<sup>こうかつ</sup>を防ぐ。
- 4 分娩<sup>ぶんべん</sup>第2期では、陣痛の間欠時に腹圧<sup>じんつう</sup>を加えさせる。

【問題 131】<sup>じょくふ</sup>褥婦の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 子宮復古不全<sup>ふっこふぜん</sup>の場合、安静臥床<sup>がしやう</sup>と、授乳の中止を指導する。
- 2 産褥<sup>さんじょく</sup>体操は、腹筋や骨盤底筋の回復を促す効果がある。
- 3 母児同室の長所は、母乳哺育の促進や児への愛着を深めることである。
- 4 入院中に行う育児指導は、異常の早期発見方法<sup>もくよく</sup>、沐浴、栄養などである。

【問題 132】出生直後の新生児の看護について、適切なのはどれか。

- 1 第1呼吸開始後に、鼻と口から粘液<sup>ようすい</sup>や羊水を吸引除去する必要がある。
- 2 全身の観察は保温に注意して行う。
- 3 計測は体重測定のみを行う。
- 4 母親の氏名や出生日時を記入した識別票は、出生後ただちに付ける必要はない。

【問題 133】乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防に関する母親への説明について、適切でないのはどれか。

- 1 「生後2か月では危険性は少ないので心配ないでしょう」
- 2 「寝ているときの呼吸状態を確認しましょう」
- 3 「あおむけ寝で育てるようにしましょう」
- 4 「父親が喫煙していたら、禁煙を勧めましょう」

【問題 134】小児の身体計測について、適切でないのはどれか。

- 1 体重は一定時刻に一定条件で測定する。
- 2 乳幼児身長計を用いて測定する場合、足の裏を固定板に密着させる。
- 3 頭囲は、前頭結節（眉間）と後頭結節（後頭部の突出部）を結ぶ周囲を測定する。
- 4 乳児の胸囲<sup>ぎやうがい</sup>は仰臥位で測定する。

【問題 135】アデノウイルス感染<sup>しつかん</sup>が原因である疾患について、正しいのはどれか。

- 1 手足口病<sup>てあしくちびやう</sup>
- 2 伝染性紅斑
- 3 流行性角結膜炎
- 4 伝染性単核症

【問題 136】けいれん性疾患<sup>しっかん</sup>について、誤っているのはどれか。

- 1 複雑部分発作時は意識が清明である。
- 2 ウエスト症候群（点頭てんかん）は、脳波上のヒプスアリスミア（ヒプサリスミア）が特徴である。
- 3 熱性けいれんは、通常は数分以内に終了する予後のよい疾患<sup>しっかん</sup>である。
- 4 憤怒けいれん<sup>ふんぬ</sup>（泣き入りひきつけ）では、抗けいれん剤の投与は不要である。

【問題 137】1型糖尿病患児の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 学校と連携し、自己管理に対する協力が得られるよう環境を整える。
- 2 糖尿病サマーキャンプは、新たな学習の機会であり、積極的な参加を勧める。
- 3 食事は糖質の制限を厳密に行う。
- 4 低血糖発作時の対応として、補食の携帯や自己血糖測定について指導する。

【問題 138】急性糸球体腎炎の急性期の患児への指導内容について、適切でないのはどれか。

- 1 感染予防行動を徹底する。
- 2 たんぱく質を多く含む食品を摂取する。
- 3 決められた水分摂取量を守る。
- 4 安静を守る。

【問題 139】自我と防衛機制について、正しいのはどれか。

- 1 自我は、現実原則に従い欲求を調整する。
- 2 抑圧は、不満<sup>かつとう</sup>や葛藤<sup>おつか</sup>を身体症状に置き換える。
- 3 昇華<sup>しょうか</sup>は、欲求が阻止されたときに怒り・泣きわめく。
- 4 合理化は、欲求が実現できないときに代替りのもので満足する。

【問題 140】疾患と症状の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 神経性無食欲症（神経性食思不振症）—— 体重に対するこだわり
- 2 躁うつ病 —— 強迫観念
- 3 てんかん（大発作） —— 強直性けいれん
- 4 統合失調症 —— 感情鈍麻<sup>どんま</sup>

【問題 141】精神症状のある患者への対応について、適切なのはどれか。

- 1 無為状態にある患者に、声をかけずに全身清拭<sup>せいしき</sup>を行う。
- 2 強迫行為で手洗い中の患者に、止めるよう強く言う。
- 3 幻聴で「悪口を言われる」と訴える患者に「それは幻です」と説明する。
- 4 興奮状態にある患者には、刺激の少ない個室を勧める。

【問題 142】精神疾患<sup>しっかん</sup>患者の日常生活支援について、適切なのはどれか。

- 1 入眠困難を訴える患者には、指示の睡眠薬を入眠できるまで与薬する。
- 2 終日臥床<sup>がしやう</sup>している患者には、日課を説明し行動するよう促す。
- 3 食事を拒む患者には、その理由を理解しようという態度で根気強くかかわる。
- 4 入院中の私物の管理は、全て看護者が行う。

【問題 143】精神疾患<sup>しっかん</sup>患者の入院治療の長所について、適切でないのはどれか。

- 1 長期間の入院により現実適応の能力をつけることができる。
- 2 自傷・他害を防止できる。
- 3 ストレスの多い環境から離れ、治療に専念できる。
- 4 様々な治療プログラムを受けることができる。

【問題 144】向精神薬服用中の患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 立ったり座ったり落ち着かないため、注意をした。
- 2 副作用により服薬を中断することがあるため、事前に説明しない。
- 3 処方の変更されたあと急に発熱<sup>あんぼう</sup>したため、冷罨法により様子を見た。
- 4 飲酒との併用は避けるよう指導する。

【問題 145】精神科病院入院患者の処遇について、適切なのはどれか。

- 1 患者が夜間興奮状態になり、当直の内科医の判断で身体拘束を行った。
- 2 閉鎖病棟では、面会には必ず医療者が立ち会う。
- 3 保護室に隔離時は、患者への刺激を避けるため訪室を控える。
- 4 閉鎖病棟内にも公衆電話を設置し、都道府県、地方法務局などの電話番号を掲げる。

【問題 146】精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）に規定されているものについて、誤っているのはどれか。

- 1 社会復帰の促進
- 2 自立支援医療
- 3 市町村の役割
- 4 精神保健指定医制度

【問題 147】薬物依存について、誤っているのはどれか。

- 1 有機溶剤の吸引は中高年に多い。
- 2 覚せい剤は、幻覚妄想<sup>もうそう</sup>などの精神症状をおこす。
- 3 睡眠薬は依存を形成することがある。
- 4 連用した薬物を急に止めると、離脱症状が出現する。

【問題 148】精神障害者の地域での生活支援について、誤っているのはどれか。

- 1 精神科デイケアは、通院で社会適応の改善や再入院の防止を目的としている。
- 2 グループホームは、作業能力の向上を目的としている。
- 3 アルコール依存症は、自助グループが有効である。
- 4 精神障害者も訪問看護の利用対象である。

【問題 149】治療薬と疾患の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 塩酸ドネペジル ————— 統合失調症
- 2 炭酸リチウム ————— パニック障害
- 3 メチルフェニデート —— 多動性障害
- 4 フェニトイン ————— 強迫性障害

【問題 150】プロセスレコードについて、適切なのはどれか。

- 1 看護者の観察能力を高める手段になる。
- 2 患者の言動と自己の言動を主観的に見つめ直すものである。
- 3 援助者としての自己活用の訓練にはならない。
- 4 じっくりいかない場面よりも、うまくいった看護活動を評価するものである。